



上末っ子

令和8年4月7日

4月号

横浜市立上末吉小学校

～ 学び合い みとめ合い 一人ひとりが輝く上末っ子 ～

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamisueyoshi/>



学校ホームページ用 QR コードです。学校の様子をご覧ください。

「挨拶・返事」「自分・友だち・人」「本気・感謝」

校長 小泉 博史

お子様のご入学・ご進級おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。学校に子どもたちの元気な姿が帰ってきて新学期がスタートしたことを実感しています。

さて3月には上末吉小学校を支えてくださった多くの先生方と卒業生が本校を去り、在校生の子どもたちとともにさみしい気持ちになりました。しかし、本日83名の新しい1年生が入学し全校児童564名となり、新たな教育活動が始まるという期待感が膨らみました。多くの新しい教職員を迎え、今年度も一丸となって子どもたちの教育に取り組んでまいりたいと思います。保護者の皆様には学校の教職員とともに子どもたちの健全な育成のため、ご理解とご協力をいただきたいと思います。

子どもたちはこの時期、新しい学年、新しい学級、新しい先生、新しい友だちと共に過ごす学校生活に期待と希望で胸を膨らませていると思います。もちろん不安を抱えているお子さんもいるでしょう。「どんな楽しいことがあるかな?」「今年はどんな勉強をするのだろう。」「新しい友だちはできるかな。」「どんな先生が担任だろう。」「今年度は〇〇をがんばるぞ!」等、様々な思いを抱き登校していることと思います。そんな子どもたち一人ひとりの期待に応える学校にしていきたいと考えています。



始業式で、「だれもが日本一いいと思える学校にしよう。」という話を子どもたちにしました。だれもがには「子どもたち」「教職員」「保護者」「地域の皆さん」「上末吉を訪れる多くの皆さん」と考えています。私は本気でそう思っています。しかし、私だけ思っていたのではもちろん実現するはずはありません。上末吉小学校にかかわる誰もが「日本一いいと思える自分」「日本一いいと思える友だち」「日本一いいと思える教職員」「日本一いいと思える保護者」「日本一いいと思える地域」を目指せば、きっと実現できると考えています。

「挨拶・返事」がきちんとできること。「自分・友だち・人」を大切にできること。何でも「本気」で取り組み「感謝」の気持ちをもてること。この7つのキーワードの大切さを私は担任をしていた時代も校長になってからも子どもたちに伝え続けてきました。このキーワードの大切さを理解し、実践していくことが豊かな心を育む基礎となり、原動力となり、「日本一いいと思える」ことにつながるのではないかと本気で思っています。「自分」を大切にすることはこの中でも特に重要なことではないでしょうか。「その行動は自分にとって良い行動だろうか?」と自分を振り返りながら日々を過ごせるようになると、これらのキーワードを考えることにつながると考えています。ご家庭でもぜひ、お子さんと話していただければ嬉しいです。

多くの皆様のご協力を得ながら教育活動を行っていきます。保護者の皆さんはもちろん、PTA活動に参加してくださるみなさん、後援会(学援隊)の皆さん、ブックファミリーの皆さん、地域の皆さん。特別支援教育支援員の皆さん。今年度も、どうぞ、子どもたちのよりよい成長のために、お力をお貸しください。よろしく願いいたします。

